

平成26年度（第3回）
 水稻病虫害発生状況調査及び生育診断圃調査の結果について
 （実施日 平成26年8月6日（水））

いもち病	今回の調査圃場では見られませんでした。 しかし、他地域では発生の多いほ場も認められることから、今後の気象ならびに発生状況について注意してください。
紋枯病	今回の調査圃場では見られませんでした。 ただし、毎年発生が認められるほ場では、今後の情報に注意してください。
ウンカ類	ヒメトビウンカの発生している地域がありますが、少発生です。今後の情報に注意してください。
カメムシ類	カメムシに注意!! 今回の調査で、カメムシを捕獲しました。近年品質低下や等級格下げなどを起こすカメムシ類の発生が問題となっています。 水田内のヒエ、エノコログサなどに生息していますので、品質向上のため、穂揃期～糊熟期（出穂後7～10日）の防除を必ず実施して下さい。
その他	フタオビコガヤ（イネアオムシ）の発生が今回の調査で認められました。幼虫による葉の食害に注意してください。 ニカメイチュウの食害株は見られませんでした。近年多発生している地域では、今後の発生に注意してください。
生育状況	草丈が高くなっています。倒伏に注意しましょう。 平均草丈 養父市 117.8 cm（昨年 119.7 cm）※98.4% 朝来市 109.2 cm（昨年 109.3 cm）※99.9% 平均茎数 養父市 21.8 本（昨年 27.9 本）※78.1% 朝来市 25.7 本（昨年 23.0 本）※111.7%

（※詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済課職員にお問い合わせください。）

【お問い合わせ先】
 南但広域行政事務組合農業共済課
 TEL 079-665-0215